

# 八東地区 第6次地域福祉活動計画

(2024年4月～2030年3月)



八東地区社会福祉協議会

はじめに

～誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

「支え合い・助け合い」を目指して～

新型コロナウイルス感染により、人と人の交流が厳しく制限され、地域の様々な活動は大きな影響を受けてきました。また、雇用状況の悪化や自然災害、電力・燃料・食品等の諸物価高騰により生活困窮に陥る世帯が増加する状況です。

この度の第6次八東地区福祉計画策定にあたり、現在までの事業結果、成果と今後の課題を把握し、地域の皆様から寄せられたアンケート調査結果を踏まえて策定委員の皆様とともに話し合い協議を重ねてまいりました。

過年事業について、振り返りますと、災害時体制や孤立解消支援など一定の成果が認められましたが感染症発生による日常生活の変化など人々の生き方や暮らし方など相互機能の低下を踏まえ、八東地域で安心して暮らしつつけることができる福祉のまちづくりに、住民が相互に支え合い、町民が一体となった福祉活動の推進ができる体制を目指して取りまとめました。

課題を考慮し「福祉のまちづくり」を達成するため、各団体の皆様をはじめ、松江市八東支所、八東公民館、自治会連合会、高齢者クラブ連合会、民生児童委員、福祉推進員、青少年健全育成協議会、八東学園、ボランティアグループ、その他関係機関・福祉団体のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりにアンケート調査に協力いただいた地域住民の皆様、八東学園・やつか保育園保護者の皆様、策定委員の皆様に御礼申し上げます。

令和6年3月

八東地区社会福祉協議会  
会長 橘 一秀

## 第6次 八束地区福祉活動計画の概要

### 地域福祉活動計画とは

私たちの暮らす地域の福祉問題や課題を解決するためには、公的なサービスを利用するだけでは解決が難しいことがある。

そこで、住民が主体となり、地域のニーズを共有し、課題解決に向けて話し合い、中心となって日頃から支えあい、助け合う「地域福祉活動」の推進が大変重要となってくる。

第5次計画を基に近年の生活課題や地域の問題などを踏まえ第6次計画を作成した。

### 八束町の概要

八束町は昭和45年八束村より八束町に町名変更した。その後、平成17年3月31日八束郡7町村が旧松江市と合併し、松江市八束町として現在に至る。

面積は6.42Km<sup>2</sup>で回りを海に囲まれた島である。高低差はあまりなくなだらかな地形である。

本町は、離島であったが国の干拓事業により、大海崎堤防・馬渡堤防・万原堤防の完成と中浦水門により陸路交通が可能となった。平成17年には江島～境港市渡町間に江島大橋が完成し、米子・境港への交通も便利になり、通院や買い物で利用しやすくなった。

そうした生活環境の変化に併せ消費動向も広域化による地域内の小売店の淘汰が急激に進むとともに、近年核家族化や一人暮らし高齢者(R5 高齢化率 38.9%)の増加など、地域を取り巻く環境が大きく変化している。要介護者等、要配慮者、障がい者、生活困窮者、交通弱者などに対応した地域福祉活動の強化が求められる。

### 八束地区各地区別人口の推移(参考)

年 度	人 口			0～14 歳人口		65歳以上			1人暮らし(65 歳以上)		
	H25	H30	R5	H30	R5	H25	H30	R5	H30	R5	
合 計	4,078	3,957	3,728	422	386	1,328	1,446	1,454	417	434	
各 地 区	波入	1,056	1,007	940	98	92	338	353	351	122	124
	入江	782	718	651	71	55	264	292	290	77	82
	二子	540	486	452	41	38	198	208	190	61	61
	寺津	178	192	191	25	31	64	70	86	21	24
	亀尻	148	162	151	19	22	59	62	55	16	21
	馬渡	248	228	202	28	24	82	82	87	25	26
	遅江	487	501	462	74	51	161	174	186	46	49
江島	639	663	679	66	73	162	200	209	49	47	

※松江市統計情報データベース参照 R5.10 月末

## 八束地区内要介護(要支援)認定者の推移

	65歳以上人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援(1・2)※1		要介護(1～5)※2	
			認定者数(人)	人口比(%)	認定者数(人)	人口比(%)
平成31年	1,456	36.7	86	5.9	214	14.7
令和2年	1,482	37.9	104	7.0	212	14.4
令和3年	1,442	37.4	108	7.5	205	14.2
令和4年	1,452	38.3	88	6.1	225	15.5
令和5年	1,464	38.9	99	6.7	207	15.9

出典:公民館区別要介護認定者数(1号被保険者のみ)各年3月末

※1 要支援とは、日常生活は自分で行えるが多少の支援が必要な状態

※2 要介護とは、自分ひとりで日常生活を送ることが難しく誰かの介護が必要な状態

### 基本理念

少子化・高齢化の進行や社会環境の急激な変化に伴い、生活様式や家族の意識が多様化する中、お互いが支えあう住民主体の「福祉のまちづくり」を目指して各種団体(松江市社会福祉協議会、自治会連合会、公民館、民生児童委員協議会、福祉推進員、高齢者クラブ連合会、青少年健全育成協議会、八束学園、ボランティアグループ)と連携・協力して住みやすい地域づくりを目指す。

### 活動方針

- 1、健康づくりと生きがいづくりの推進
- 2、福祉ニーズの把握とニーズに沿った福祉学習の推進
- 3、住民参加による地域福祉活動の充実
- 4、フレイル(虚弱)予防と要支援認定者数の減少を目指す

### 第6次地域福祉計画の年度毎の活用

計画の詳細な活動内容については毎年度に地区社会福祉協議会事業計画に反映させ、実行を図る。

また、年度毎に地区社協常任理事会(第2層協議体)で検討・協議しその分析結果を次年度に反映させ、各事業の進め方・手法の改善を図る。

## 活動計画策定作業経過について

- 4月18日 地区社協常任理事会  
福祉計画策定について説明 スケジュール・メンバー相談
- 6月30日 地区社協総会  
福祉計画策定について説明  
小委員会メンバー承認
- 7月18日 第1回 小委員会  
第5次 福祉活動計画 評価  
アンケートの実施について 内容検討
- 9月～10月 アンケートの実施  
八束学園6・8年生児童・生徒 PTA  
やつか保育園保護者 地域住民  
回答者 八束学園児童・生徒(6・8年生) 58名  
八束地区住民(20代～90代) 142名
- 11月 アンケート集計作業
- 11月29日 第2回 小委員会  
アンケート結果報告 重点課題ポイント検討
- 1月12日 第3回 小委員会  
原案作成 到達目標設定
- 2月9日 第4回 小委員会  
全体確認 事業計画へ反映させるための話し合い
- 3月 完成 計画承認

第6次 八東地区地域福祉活動計画

項目		活動内容	到達目標	目標達成のために何をするか
地域のつながりづくり	どげな会支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を実施し、活用できる情報をまとめ提供。</li> <li>どげな会の継続支援、事業の展開・広報活動の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どげな会実施回数・参加者の増加。</li> <li>地域住民との交流活動により地域への愛着を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性参加者の増加。</li> </ul>
	交流事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>八東学園、保育園などの地域行事への参加促進。</li> <li>各種団体や八東学園によるあいさつ運動の継続と更なる推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間の交流を活発に行う。</li> <li>交流人口の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に誰もが集える居場所をつくり、世代間交流の実施。</li> </ul>
見守りネットワーク	要配慮者の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉推進員と民生児童委員で情報交換会を実施。必要であれば、各地区や行政へ情報を提供。</li> <li>要配慮者支援会議との連携情報共有(引継ぎ)。</li> <li>要配慮者の把握、見守りにあわせ消費者被害の啓発活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特質(絆の強い地域)に基づいて作成した詳細な把握事項の利活用を図る。</li> <li>関係者の連携強化を行い見守り活動に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りマップ継続して制作。</li> </ul>
	災害弱者 (高齢者、障がい者、 その他の方等)の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区防災隊と負傷者の救出、救護、避難場所への誘導などについて協議し、相互協力体制の確立に向けた取り組み。</li> <li>要配慮者の支援について研修の実施。</li> <li>実際の避難者の声を聞く。</li> <li>実際の避難者、被災地派遣のボランティアからの知見の学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区、福祉関係者の役割分担並びに相互協力体制の確立。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町全体で行う防災伝達訓練への協力。</li> <li>防災学習会の実施。(避難所運営ゲーム等)</li> </ul>
	買い物・ゴミ出しその他 生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は近隣や親せき等で対応している方が多い。今後の福祉環境の変化に対応し、的確にニーズを把握して情報提供や支援を行う。</li> <li>隣近所の自主的な支えあいを継続する、頼む人が無く困っている人がいないか定期的にニーズの把握。</li> <li>八東地区くらしの便利帳を適時更新。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上のお困りごとを住民参加で解決する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どげな会等でのニーズ把握。</li> <li>必要であれば、地域支えあい協議体の助け合いサービス立ち上げを検討。</li> </ul>
	交通弱者対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIデマンドバスの利用促進。必要であれば、その他移動手段の情報提供。</li> <li>定期的にニーズ把握。</li> <li>AIデマンドバスを利用しての会議や行事の開催促進。</li> <li>のるーとアプリを普及させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適時、情報発信を行う。</li> <li>乗り方・使い方教室の実施。</li> </ul>
	孤立解消支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動(ふれあい訪問、どげな会等)の支援。</li> <li>各活動の安否確認の頻度の検討並びにどげな会へ参加されなくなった人の呼びかけを行う。</li> <li>関係団体と合同研修会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りの仕組みの継続</li> <li>現活動を継続。</li> <li>社会的孤立を防ぐ仕組みの確立。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動の強化。</li> <li>民生児童委員との関係強化。</li> </ul>

項目		活動内容	到達目標	目標達成のために何をするか
健康づくり	けんしん受診促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>けんしん前に広報車巡回、児童による有線(おしらせくん)放送を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会をとらえて病気の早期発見・早期治療の大切さを伝える。壮年期等若年層へのけんしんの大切さを伝える。</li> <li>住民同士の声掛けで健診受診率の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事等での情報発信。</li> <li>健康まつえ21推進隊、福祉推進員の意識向上。</li> <li>地域の関係者と連携強化。</li> </ul>
	健康講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症への取り組み。</li> <li>フレイル予防の実施。</li> <li>生活習慣病予防(塩分、血圧)を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座の参加者増加。</li> <li>住民の健康意識の醸成。</li> </ul>	
	食からの健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>どげな会等で料理教室実施。</li> <li>健康講座やイベント時に料理教室や試食等の提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康になるための食の大切さを伝える。</li> <li>食育の意識向上。</li> <li>参加者、事業実施の増加。</li> </ul>	
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキング、グラウンドゴルフ等継続支援。</li> <li>若い世代が楽しめる運動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命の大切さを伝える。</li> <li>スポーツ人口増やす・体育協会との連携・既存活動のPR・親子ウォーキングの実施。</li> </ul>	
子育て	小さい子どもが安心して遊べる場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てカフェ、子育て教室継続、その他イベント等の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現活動を継続。</li> <li>月2回の開催。</li> <li>親同士交流の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現活動を見直しながら実施。</li> </ul>
ボランティア	ボランティアの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の実施。</li> <li>どげな会マニュアルの作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過度な負担が無く活動できる仕組みづくり。</li> <li>福祉推進員の現人数確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広く住民に働きかけボランティアを確保。</li> </ul>

※詳細な活動内容については年度毎に事業計画に記載する

第6次 八束地区地域福祉活動計画

項目		活動内容	到達目標	第5次 の評価	R6 評価	R7 評価	R8 評価	R9 評価
地域のつながりづくり	どげな会支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を実施し、活用できる情報をまとめ提供。</li> <li>どげな会の継続支援、事業の展開・広報活動の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どげな会実施回数・参加者の増加。</li> <li>地域住民との交流活動により地域への愛着を深める。</li> </ul>	○				
	交流事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>八束学園、保育園などの地域行事への参加促進。</li> <li>各種団体や八束学園によるあいさつ運動の継続と更なる推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間の交流を活発に行う。</li> <li>交流人口の増加。</li> </ul>	○				
見守りネットワーク	要配慮者の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉推進員と民生児童委員で情報交換会を実施。必要であれば、各地区や行政へ情報を提供。</li> <li>要配慮者支援会議との連携情報共有(引継ぎ)。</li> <li>要配慮者の把握、見守りにあわせ消費者被害の啓発活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特質(絆の強い地域)に基づいて作成した詳細な把握事項の利活用を図る。</li> <li>関係者の連携強化を行い見守り活動に活かす。</li> </ul>	○				
	災害弱者 (高齢者、障がい者、 その他の方等)の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区防災隊と負傷者の救出、救護、避難場所への誘導などについて協議し、相互協力体制の確立に向けた取り組み。</li> <li>要配慮者の支援について研修の実施。</li> <li>実際の避難者の声を聞く。</li> <li>実際の避難者、被災地派遣のボランティアからの知見の学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区、福祉関係者の役割分担並びに相互協力体制の確立。</li> </ul>	◎				
	買い物・ゴミ出しその他 生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は近隣や親せき等で対応している方が多い。今後の福祉環境の変化に対応し、的確にニーズを把握して情報提供や支援を行う。</li> <li>隣近所の自主的な支えあいを継続する、頼む人が無く困っている人がいないか定期的にニーズの把握。</li> <li>八束地区くらしの便利帳を適時更新。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上のお困りごとを住民参加で解決する。</li> </ul>	◎				
	交通弱者対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIデマンドバスの利用促進。必要であれば、その他移動手段の情報提供。</li> <li>定期的にニーズ把握。</li> <li>AIデマンドバスを利用しての会議や行事の開催促進。</li> <li>のるーとアプリを普及させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者の増加。</li> </ul>	◎				
	孤立解消支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動(ふれあい訪問、どげな会等)の支援。</li> <li>各活動の安否確認の頻度の検討並びにどげな会へ参加されなくなった人の呼びかけを行う。</li> <li>関係団体と合同研修会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りの仕組みの継続</li> <li>現活動を継続。</li> <li>社会的孤立を防ぐ仕組みの確立。</li> </ul>	○				



項目		活動内容	到達目標	第5次 の評価	R6 評価	R7 評価	R8 評価	R9 評価
健康づくり	けんしん 受診促進	・けんしん前に広報車巡回、児童による有線(おしらせくん)放送を実施。	・機会をとらえて病気の早期発見・早期治療の大切さを伝える。 ・壮年期等若年層へのけんしんの大切さを伝える。 ・住民同士の声掛けで健診受診率の向上。	○				
	健康講座	・認知症への取り組み。 ・フレイル予防の実施。 ・生活習慣病予防(塩分、血圧)を実施。	・健康講座の参加者増加。 ・住民の健康意識の醸成。	○				
	食からの健康づくり	・どげな会等で料理教室実施。 ・健康講座やイベント時に料理教室や試食等の提供。	・健康になるための食の大切さを伝える。 ・食育の意識向上。 ・参加者、事業実施の増加。	○				
	運動	・ウォーキング、グラウンドゴルフ等継続支援。 ・若い世代が楽しめる運動の実施。	・健康寿命の大切さを伝える。 ・スポーツ人口増やす・体育協会との連携・既存活動のPR・親子ウォーキングの実施。	◎				
子育て	小さい子どもが安心して 遊べる場所	・子育てカフェ、子育て教室継続、その他イベント等の実施。	・現活動を継続。 ・月2回の開催。 ・親同士交流の増加。	◎				
ボランティア	ボランティアの確保	・研修の実施。 ・どげな会マニュアルの作成。	・過度な負担が無く活動できる仕組みづくり。 ・福祉推進員の現人数確保。	○				

※詳細な活動内容については年度毎に事業計画に記載する